

## 膝関節および足関節の手術予後因子に関する画像情報等を用いた後ろ向き研究

### ●はじめに：

画像診断機器（CTやMRIなど）の普及や発展により治療効果判定などに役立っています。また整形外科では安全かつ確実な手術を行うために、これらの画像を用いて様々な計測を行うことがあります。我々は、患者さんの手術の満足度などと画像情報や血液データの関連を解析し、より安全かつ確実な手術を行うための研究を行っています。

### ●対象：

当院を受診し、平成22年4月1日から平成30年7月31日までに画像検査を受けられた患者さんが対象で、予定症例数は500症例です。

### ●方法：

- ・通常の診療に必要な検査結果および画像データなどを使用します。
- ・利用する情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身長、体重、患者および医療者立脚型スコア

画像情報：X線画像、CT、MRI、骨密度、核医学

採血データ：血算、生化学データ

- ・新たな追加検査をすることはなく、患者さんに余分な費用や危険は生じません。

### ●個人情報について：

- ・個人情報の漏洩を防ぐため個人を特定できる情報は削除しています。
- ・研究結果の公表の際には患者さんを特定できる情報は含まれません。
- ・研究の目的以外に患者さんのデータを用いません。

●参加しない場合や同意を取り消した場合でも、患者さんに適切な治療を行い、治療上、不利な扱いを受けることや、不利益を被ることはありません。

●当院を受診し平成22年4月1日から平成30年7月31日までに画像検査を行い、膝関節または足関節の手術を受けた患者さんで、この研究に診療データを提供したくない方は下記までご連絡下さい。

### 記

札幌医科大学附属病院 整形外科

研究責任者 寺本 篤史 e-mail: seikeigeka@sapmed.ac.jp

平日：tel) 011-611-2111 (内線 33330)

夜間・休日：fax) 011-641-6026 (休日明けに連絡を差し上げますので連絡先が分かるように明記下さい)

●研究期間：病院長承認日から2022年3月31日まで。

●医学上の貢献：

研究結果は、手術前に施行した画像検査から手術後の治療効果などを予測することにつながり、安全で質の高い手術治療または予後予測に有用な情報となります。

●データの削除について：

データ解析後あるいは学会論文発表後には、診療データの提供を拒否してもデータの削除ができない場合があります。

●問い合わせ先

〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目

札幌医科大学附属病院 整形外科

研究責任者 寺本 篤史

研究分担者 神谷 智昭

平日：tel) 011-611-2111 (内線33330)

夜間・休日：fax) 011-641-6026 (休日明けに連絡を差し上げますので連絡先が分かるように明記下さい)